

TRUSCO**PRO TOOL**

Skilled professionals need professionally qualified tools.
This line of products brings manufacturers all the advantages of
using excellent equipment,
and will satisfy each and every user in the workplace.

®

構内・災害時用ノーパンク 三輪自転車 ”ハザードランナートライ”

この度は **TRUSCO** 構内・災害時用ノーパンク自転車をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

取扱説明書



HAZARD RUNNER TRI

THR5503 TRI



ノーパンク自転車について

「パンクしない自転車」は頑丈な自転車という意味ではありません。激しい乗り方をされると樹脂が破裂し、リム割れを起こす恐れがあります。乗車の際は、優しくお取り扱いください。タイヤは消耗品です。劣化・摩耗での交換につきましては、タイヤ・リム一式での交換になりますので弊社までお問い合わせください。

弊社では、常によりよい製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面でさまざまな改良を積み重ねております。つきましては、この取扱説明書に記載されている仕様ならびに装備において、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

快適・安全にご利用いただくため、ご使用前に必ずお読みください

- 必ず防犯登録を行ってください。防犯登録の手続きには本誌裏面の自転車販売証明書が必要です。(詳細は14ページをご参照ください。)
- お子様をご使用になる場合は、保護者の方が必ずこの説明書をよく読んで、正しい乗り方と注意事項などについてご指導ください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。(販売の証明となる伝票や、運送会社の送り状控えなども一緒に保管ください。) 自転車を他人に譲る場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。
- 購入後の初期点検およびに定期点検は、必ず実施してください。
- この自転車の取扱・点検・調整などについて不明な点は、弊社お客様相談室、またはお近くの自転車店にご相談ください。
- 整備や故障、修理などで部品を交換される場合は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご相談いただき、自転車が常に完全な状態であるようお心掛けください。

※商品の基本的なセッティングはされていますが、「輸送時の振動」や「初期伸び」などで、お客様に調整して頂かなければならない場合がございます。予めご了承ください。

警告表示

警告表示は危険の程度に応じて次の区分で表示していますので、特に注意してください。



警告

取扱を誤った時に、使用者が死亡もしくは重傷を負う危険性が想定されるもの。



注意

取扱を誤った時に、使用者が傷害を負う危険が想定される時及び物的損害のみの発生が想定されるもの。



禁止

危険の程度とは関係なく道路交通法で禁止されている行為。誤ると思わぬ事故・ケガを負う危険が予知されるもの。



実行

使用者に必ず実行していただきたいこと。

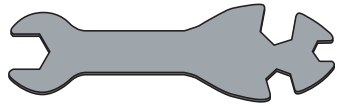
目次

付属品・適応身長	P1	三輪自転車の機能説明	P9～10
警告事項	P2～3	乗る前の点検	P11
注意事項	P4	日常のお手入れ	P12
三輪自転車各部の名称	P5	ブレーキの調整	P13
三輪自転車の組み立て	P6	防犯登録について・こんな時どうする?	P14
三輪自転車の取扱いと調整	P7	品質保証規定・保証書・販売証明書	裏面
三輪自転車を快適・安全にご利用いただくために	P8		

付属品

※付属の工具は、自転車の整備・調整に使用する一般的な工具です。他に必要な工具はお客様にてご用意ください。

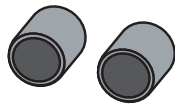
●簡易スパナ



●六角レンチ



●ハブ保護用キャップ



ハブのナットを保護するために装着します
(5ページ「各部の名称」⑩ハブ)
※外れたり紛失しても、特に走行に影響はありません

標準適応身長目安

サドルにまたがりペダルに足を乗せたとき、ひざにやや余裕ができるようにサドルの高さを調整します。また、小さな方や初心者の方はサドルをいちばん低い位置まで下げた状態で、両足がかかとまでべったり地面につくことが大切です。

身長 (cm)	140	145	150	155	160	165	170	175
サドル高 (cm)	73	75	77	79	81	83	85	87

※この場合の「サドル高」は、地上からサドル上部までの高さを意味します。
上記のサイズは、日本人の標準体格によるもので、腕や脚などの長さによりサドル高に多少の差が出ます。予めご了承ください。

オプションパーツ【別売】

オプションパーツとして、折畳みカゴとLED3灯式ライトをご用意しております。詳しくは、販売店または弊社オレンジブック.comまでお問合せください。

●モノづくり大辞典
オレンジブック
http://www.orange-book.com/

折畳みカゴ



LED3灯式
ライト



警告事項



積載条件をこえる荷物を積まない

接触やバランスをくずし転倒によるケガのおそれがあります。

【積載条件の目安】

後カゴ……約13kg(カゴから飛び出さないように)



サドルやハンドルは引上げ限界線より上に上げた状態で乗らない

サドルやハンドルがはずれたり折れたりして、転倒によるケガのおそれがあります。最も高くした場合でも、シートポストおよびハンドルポストの下端が、6.5cm以上パイプに入るようにしてください。シートポストおよびハンドルポストの限界線(MAX)が見えてはいけません。



グリップ(ニギリ部)のゆるんでいるものには乗らない

グリップ(ニギリ部)の弾性が低下し、回るものは、ハンドルから抜ける恐れがあり、大変危険です。自転車店ですぐに取り換えてください。



自分で改造しない

部品が外れたり、こわれたりして転倒し、ケガをする恐れがあります。

修理や部品の取り付けは自転車店にご相談ください。



スピードを出しすぎない

スピードを出しすぎると、ハンドル操作が難しく、ブレーキも効かなくなり、事故を招くおそれがあります。



ぬれた道や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、思わぬ事故や転倒によるケガのおそれがあります。



手やハンドルに荷物を下げたりペットをつないだりしない

バランスをくずして転倒しケガの恐れがあります。

荷物はキャリア(荷台)やバスケットに積んでください。



スポークの間に固形物(ボール等)を入れて走らない

固形物が移動し、ブレーキやダイナモに接触し転倒するおそれがあります。



運動機能が低下するものを飲んだときは乗らない

衝突や転倒によるケガの恐れがあります。酒気を帯びているときや、大変疲れているときは乗らないでください。病気やケガをしている人は乗らないでください。体が不自由な人は十分ご注意ください。メガネを常用している人は必ずメガネをかけてください。



異常があるときは乗らない

点検しないで、異常があるまま走行すると、転倒によるケガのおそれがあります。

異常を発見したら自転車店にご相談ください。変形・ヒビ割れ等異常のある部品は必ず交換してください。曲がりを直したの再使用は破損の原因になりますので、絶対にしないでください。衝突したとき、前フォークが曲がることによりショックを吸収し乗員のケガを防止する役目をもっています。



ハンドルから手を離さない

(手放し運転や傘をさしての運転、携帯電話の使用など) バランスを崩して転倒し、ケガのおそれがあります。また、危険を回避するための急な操作ができず、事故をまねく恐れがあります。片手運転は絶対に禁止です。



外部の音を遮断した状態で乗らない

イヤフォンやヘッドフォンを装着した状態での使用は、周囲の状況把握ができず注意力が低下し、事故をまねく恐れがあります。



傘やステッキ、釣竿などを車体に差し込んだり、吊り下げたりしない

車輪をロック(固定)させたり、歩行者にケガをさせるおそれがあります。



車輪・ギア・チェーンなど回転しているところに手を触れない、触れさせない

車輪に巻き込まれたり、はさまれたりして、ケガをするおそれがあります。



ブレーキの制動面に注油しない

ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒によるケガのおそれがあります。



坂道で駐停車をしない

坂道で駐停車をすると思わぬ事故が発生する恐れがあります。

平坦で安全な路面に止めてください。三輪自転車の場合、必ず前車輪ロック装置を起動させてください。

警告事項

禁止 走りながらライトの操作をしない
靴が車輪に巻き込まれ転倒しケガをするおそれがあります。

実行 必ず停止してからライトの操作をしてください。

禁止 凹凸の激しいところを走らない
(歩道の段差や溝、階段など)

●凹凸では
簡易舗装の道では、いたるところに穴があいています。スピードをおさえて通らしましょう。

●軌道敷では
原則として入ってはけません。もし入るときには、軌道敷のすき間にタイヤを挟まないよう十分注意してください。危ないと思ったら、降りて押して通ってください。

●山路では
路面が荒れています。落石にも十分気をつけてください。ガケくずれの危険がありますので、路肩に寄りすぎないように注意が必要です。凹凸状態の道ではペダルが地面に接触しないよう道を選んで走ってください。

●ジャリ道では
ハンドルがとられ、ふらつきやすいうえ、スリップしたり、タイヤ、リムを損傷するおそれがあります。無理に乘らず、降りて押しましょう。

禁止 二人乗りやアクロバットの乗り方はしない

立ちこぎ等、アクロバティックな乗り方は転倒や落車によるケガのおそれがあります。また、二人乗りは法律で禁止されており、たいへん危険です。絶対にやめましょう。

禁止 視界が悪いときは無灯火で乗らない
(夜間や霧などのとき)

実行 ヘッドランプが標準装備されていない機種には、別売のヘッドランプを必ず装着してください。
ランプが点かないときは押し歩いてください。

●夜間
夜間に乗車する場合は、必ずヘッドランプを点灯してください。ヘッドランプの明かりは、路面状態を見るのみでなく、他の車両や歩行者からの視認をやすくする効果があります。走行中ランプの電球がきれた場合には新しいものと交換し、ご使用ください。電球は必ずランプの仕様にあわせてご使用ください。

●霧のとき
霧の深い日は見通しが悪く、たいへん危険な状態です。必ずヘッドランプを点けて走りましょう。＊雨・強風・雪・霧の中を走った後は手入れを十分しておかないと、サビや故障が発生する場合がございます。ドロや水気をよくふきとり、必要部分に注油しておきましょう。

禁止 リフレクターが汚れていたり破損したままの状態に乗らない
テールランプおよびリフレクターは、後続の車両からの確認をするうえでたいへん重要です。汚れ・損傷や故障の場合には直ちに修理をしてご使用ください。

禁止 ハンドルの形を変えない
ハンドルを上向きや前向きにして乗ると、乗車姿勢が不自然なため走行が不安定となり、転倒しケガをするおそれがあります。

禁止 車輪の脱着やサドルの調整後、締め付けを確認しないまま乗らない
車輪やサドルが外れて、転倒によるケガのおそれがあります。必ず乗る前に確認してください。

●車輪について

実行 自転車を持ち上げて、車輪を上から強く叩き、車輪がずれたりガタついたりせずに、前フォークやフレームにしっかりと固定されていることを確認してください。

●サドルについて

実行 上下・左右および前後にガタや動きがないこと、フレームとまっすぐに取り付いていることを確認してください。また、サドルの前後を持って上下・左右に力を加えた場合に動きがなく、しっかりと固定されていることを確認してください。

禁止 視界の悪いときは乗らずに押して歩く
見通しが悪いと、衝突や転倒のおそれがありますので、乗らずに押すようにしましょう。

禁止 踏み台代わりなど走行以外の用途で使用しない
転倒によるケガのおそれがあります。

禁止 山岳・河川などでは、絶対に使用しない
ハンドル・フレームなどが折損したり、ブレーキが効かなくなったりして、転倒してケガをするおそれがあります。

禁止 幼児を乗せない
自転車が倒れてケガのおそれがあります。

注意事項

禁止 カーブではスピードを出さない
曲がりきれずに思わぬ事故を招きます。

カーブではブレーキ操作に注意
横すべりをおこし転倒する危険があります。スピードを落として走りましょう。

禁止 自動車の横を走り抜けるときはスピードを出さない
自動車のドアが急に開き衝突の危険があります。

禁止 走行中ブレーキワイヤーを引っ張ったり曲げたりしない

禁止 カーブで曲がる側のペダルを下にしない
ペダルが地面と接触し転倒によるケガの恐れがあります。自転車は自動車と違い、コーナリングでカーブするとき、内側に傾きます。この傾斜によって遠心力と自転車の重量のバランスをとるのです。スピードを出しすぎていると、このバランスが崩れカーブを曲がりきれなかったり、道路のセンターラインを越えてしまったりする場合があります。

●カーブの手前ではスピードを落とす
カーブでの見通しはききませんので、必ず手前で十分な減速をしましょう。

●ペダルをとめる
コーナリング中はペダルを止めてください。傾斜したとき路上の凸部にペダルがあたること危険です。カーブする側のペダルを上にするか、左右水平にしておいてください。

●ブレーキをかけない
コーナリングの最中に急ブレーキをかけると、横すべりをおこし転倒する危険があります。

●坂道では
下り坂ではスピードの出すぎは禁物。登り坂ではハンドルがふらつきやすいことを考慮し無理に乘らず、降りて押しましょう。

禁止 片側ブレーキはかけない
片側ブレーキ(特に前ブレーキ)をかけると、バランスを崩して転倒し、ケガをするおそれがあります。走行中は常にブレーキレバーをすぐ握れるようにしてブレーキは前後ともかけてください。

禁止 急ブレーキはかけない
急ブレーキをかけるとスリップして転倒する恐れがあります。前方に注意して安全走行してください。

禁止 ギア変速は一度に2段以上しない
必ず一段ずつ変速してください。一気に変速すると、チェーンが外れて転倒によるケガの恐れがあります。

禁止 すべりやすい所では乗らない
(雪道や凍結した道、工事用の鉄板の上など)スリップして転倒によるケガのおそれがあります。避けて通るか、押して歩いてください。

●砂・小石
舗装道路の砂や小石はスリップを招きます。急ブレーキ、急旋回は厳禁です。

●ドブ
市街地走行では溝に注意。思わぬところでドブにはまる危険があります。

●鉄板道路
工事中の鉄板道路では、隙間やスリップに注意してください。特に雨の日はスリップしやすく危険です。走り慣れない道を通るときは、いつもより注意が必要です。

●雪
雪の日には乗らずに、降りて押して歩いてください。また、冬は晴れた日でも日影の路面が凍っていたり、雪が残っていたりしますので注意が必要です。

禁止 すべりやすい靴やハイヒールをはいて乗らない

足がペダルから外れて転倒するおそれがあります。素足、ゲタ、サンダル、かかとの高い靴でのご乗車はおやめください。動作のしやすい履物をお選びください。安全確保のために走行中はヘルメットを必ず着用するようにしてください。尚、風などで飛ばないようにしっかりと留めてください。

禁止 乗るときは巻き込まれやすい服装や荷物を避ける(長いスカートやマフラー、傘など)

車輪やギアに巻き込んで転倒によるケガの恐れがあります。着物やスノの長いスカートなど、動作のしにくい服装はおやめください。肌を露出する服装では乗らないでください。転倒したり、ぶつかったりしたときケガをするおそれがあります。

注意 雨・強風のとき

●雨のとき
服装(雨具)を整える。傘を持つての片手運転は絶対におやめください。雨ガッパやレインコートを着るときは、裾が引つかからないように、必ずセイフティバンド、輪ゴム、クリップなどで留めてください。また、雨の日はブレーキが効きにくくスリップしやすいので、ゆっくり走りましょう。

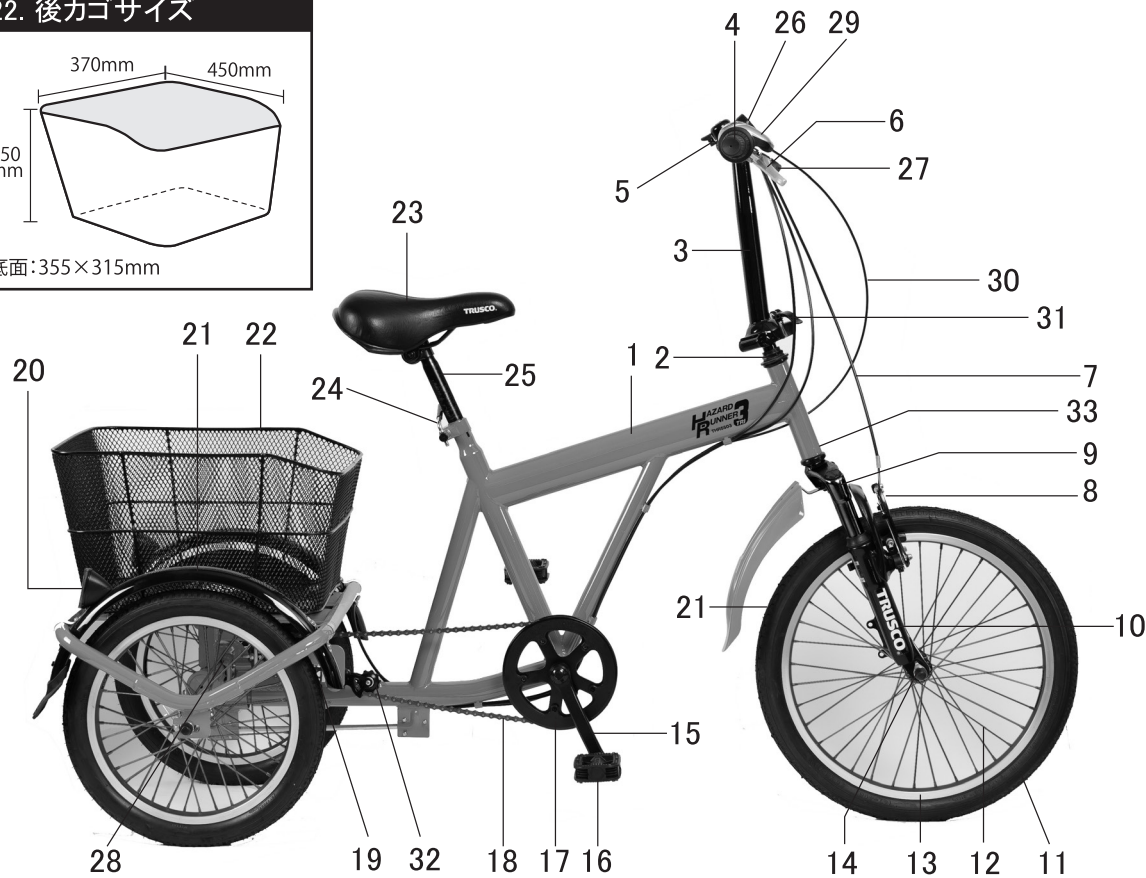
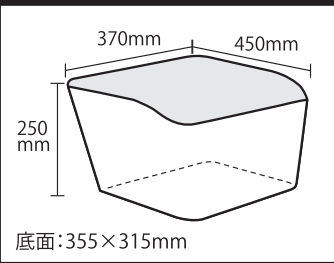
●強風のとき
ハンドルがふらつきやすく、安全に運転できません。降りて押し歩いてください。

注意 お子様に乗られる場合は
ブレーキレバーに指が届いているかどうか確認してください。また、正しいブレーキのかけ方ができるまで繰り返し教えてください。

各部の名称

※下記の番号は、6～10ページの説明に使用しておりますので、照らし合わせてご覧ください。

22. 後カゴサイズ



- | | | |
|-------------|-------------|------------------------------|
| 1. フレーム | 12. スポーク | 23. サドル |
| 2. ハンドルチューブ | 13. リム | 24. サドル固定レバー |
| 3. ハンドルポスト | 14. ハブ | 25. シートポスト |
| 4. グリップ | 15. クランク | 26. スイング切替レバー |
| 5. ベル | 16. ペダル | 27. 前車輪ロック装置 (右側のブレーキレバーに装着) |
| 6. ブレーキレバー | 17. チェーンカバー | 28. 変速機 |
| 7. ブレーキワイヤー | 18. チェーン | 29. グリップシフト |
| 8. ブレーキ | 19. フリーホイール | 30. 変速機ワイヤー |
| 9. サスペンション | 20. リフレクター | 31. ハンドルポスト固定レバー |
| 10. 前フォーク | 21. 泥除け | 32. ガイドプーリー |
| 11. タイヤ | 22. 後カゴ | 33. 車体番号刻印位置 |

三輪自転車の組み立て

必ずお読みになってから、ご使用ください
実行

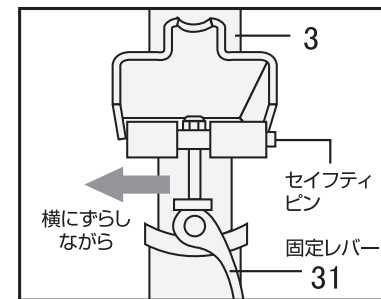
配送直後のお願い



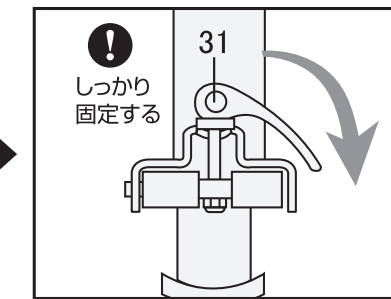
振動などで各部にネジなどの緩みがないか確認してください。また新しい自転車の場合、ブレーキが固い場合がございますので、前後ブレーキレバー(6)を数回握って、スムーズになるようになじませてからご使用ください。

ハンドルポストの固定

※ハンドルを組み立てる際、ブレーキワイヤー(7)がねじれていないか、ブレーキ(8)が前方にあるかを確認してください。(ハンドルと前輪が反対向き、または一回転している場合があります、正確に組立が行えない場合があります。)



固定レバー(31)を横に押しながら(セイフティピンが解除された状態)ハンドルポスト(3)を起し、ジョイント部をかみ合わせます。



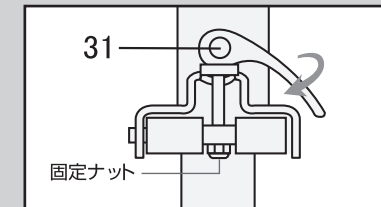
固定レバー(31)を、手のひらが少し痛くなるくらい力で押し下げ、しっかりと固定して完成です。
※レバーは、進行方向(前方)ではなく、後方側に倒してください。



ハンドル折畳みのジョイント部分は、フレーム(タイヤ)に対してななめの状態が正常な向きです。折り畳む際に、タイヤに当たらないような仕組みになっています。

固定力の調整方法

固定が固すぎ・緩すぎの場合は、固定ナットを簡易スパナでロックし、固定レバーを回転して調整してください。



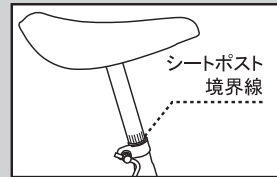
サドルの調整・固定

■ サドルの高さ

- サドルに腰をおろし、ペダルを一番下にして足を乗せた時に、ひざが軽く曲がる程度の高さが適当です。
- 背が小さい方や初心者の方は、両足が地面に確実に接するくらいの高さに調整してください。

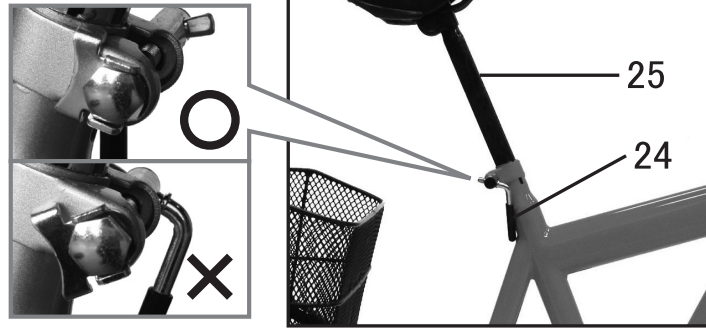


シートポスト境界線が隠れるまで、しっかりと差し込んで、しっかりと固定してください。



■ サドルの上げ下げ

反対面



サドル固定レバー(24)を反時計回りに回すと、シートポスト(25)が緩みます。固定する場合は、時計回りに締めつけます。

※固定レバー反対面の金具が、きちんとはまっているか確認してください。空回りし、固定できない原因になります。



しっかりと固定し、緩みがないことをご確認ください。

■ サドルの前後位置・角度調節

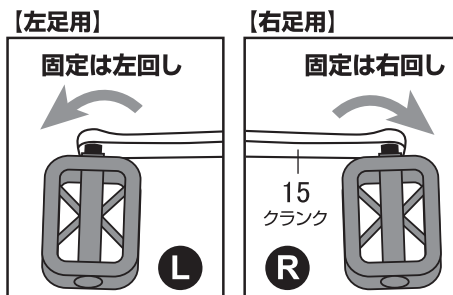
サドルの前後位置は、ペダルを斜め前の一番力のかかる位置にして足を乗せた時、ひざの中心から垂線がペダルの中心を通るようにするのが標準です。また、角度はサドル上面が地面に対してほぼ水平になるように調整してください。



調整後はサドル取付けボルト(ナット)をしっかりと締め付けて固定し、緩みがないことをご確認ください。

ペダルの固定

工場出荷時にペダルの取り付けはすでに行われていますが、緩みがないことを確認してご使用ください。



ペダルの取り付けが緩い場合、部品破損や事故の原因となります。しっかりと取り付けを行ってください。定期的にペダル取り付けのゆるみがないことをご確認ください。ペダルの修理や交換取付は、自転車店にご相談ください。



乗り方と注意

※次のページからの機能説明も必ずお読みください

●十分に練習してからご使用ください

- ・三輪自転車は構造上、二輪自転車とは全く乗車感覚が違います。安全な場所にて十分練習してからご使用ください。路面の傾斜によって走行中にハンドルを取られることはめったにありませんが、左右のバランスをとりながらの走行が必要です。
- ・自転車の走行に不安がある方は、初めにスイング切り替えスイッチを「停車時」にして練習しますと、スイング機能は固定されますのでグラつきは軽減されます。ただし、操作性が悪くなり、路面の傾斜によって走行中にハンドルを取られることがあります。一旦、ペダルをこぐのをやめ、ハンドルの向きを変えゆっくりとこぎながら走行してください。(速度を十分に落として安全な走行をしてください。)

※スイングレバー「停車時」での練習の際は、必ず公園などの安全な場所でご使用ください。

※公道でのご使用の際には、必ずスイングレバーを「走行時」に切り替えてご使用ください。

●スピードの出しすぎ、急なカーブには注意してください

- ・二輪自転車に比べて、車幅も広く車重も増すため、歩行者や障害物には十分に注意して、低速走行を心掛けて下さい。
- ・転倒の恐れがありますので、急なカーブを曲がることはできません。一旦、ペダルをこぐのをやめ、ハンドルの向きを変えゆっくり方向転換をして下さい。

●安全な道を選んで走行してください

日本の道路事情はバリアフリーの遅れから、歩道と車道での段差や歩道自体の傾斜など転倒しやすい場所があります。ハンドルを取られたりふらついたりしないように、なるべく安全な道をお選びのうえご利用願います。

●後カゴは積載重量を守ってご利用ください

- ・カゴの中にお子様やペット等を載せないでください。

最大積載量

後カゴ…約13Kg

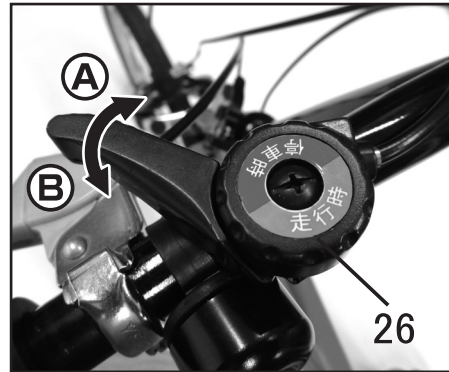
駐輪時の注意

- ・盗難に遭わないためにも、駐輪時に鍵は必ずかけてください。(※付属していません)
- ・駐輪禁止の場所や人・自転車の迷惑になるところに放置してはいけません。
- ・三輪自転車を平坦な路面に止め、必ずブレーキのロック装置により前輪をロックさせ、三輪自転車が動かないことを確認して下さい。

スイング切替レバーについて

スイング切替レバー(26)で、車体フレームのスイング機能を切り替えることができます。

- Ⓐ 停車時/スイング機能OFF Ⓑ 走行時/スイング機能ON



実行

切替えを行う際には、必ず平坦な路面に停車した状態で操作を行ってください。走行中に操作をすると、急に機能が切り替わり、重大な事故や部品破損につながる場合があります。

停車時

スイング機能を固定した状態になります。
(車輪が固定されるわけではありません。車輪のロックは10ページ参照)

停車した状態で、スイング切替レバー(26)をⒶ方向「停車時」にしっかり回します。フレームの揺れ(スイング)がなくなったことを確認してください。

※構造上、「停車時」の固定状態でも多少のあそびがあります。

※三輪自転車に慣れるまで「停車時」で練習すると、スイング機能が固定されグラつきは軽減されます。



実行

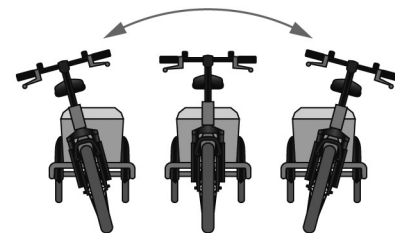
- 「停車時」での練習は、必ず公道ではない平坦で広い場所(公園など)で行ってください。
- 「停車時」での走行は、練習期間のみの使用としてください。「停車時」で走行し続けると、路面・傾斜などの影響でハンドル操作や走行性能が悪くなり、思わぬケガや部品破損の原因となる場合があります。

走行時

スイング機能を使用した状態になります。
スイングすることで、カーブも大回りせずスムーズに曲ることができます。

停車した状態で、スイング切替レバー(26)をⒷ方向「走行時」にしっかり回します。フレームが左右に揺れる(スイングする)ことを確認してご乗車ください。

※初めは、スイングの揺れに慣れるまで時間がかかる場合もございます。バランスをとれるまで、公園などの公道ではない広い場所で練習することをおすすめします。



※イラストはイメージです。



実行

- 傾斜によりハンドルをとられやすくなりますので、走行の際には、必ず「走行時」の状態でご使用ください。
- 走行中は、カーブを曲がる際に必要以上に車体を左右に傾けて走行しないでください。自転車が転倒して、思わぬケガの原因となる場合がございます。

前車輪ロック装置について



実行

前車輪ロック装置(27)で、駐輪時に車輪を固定することができます。三輪自転車を駐停車する時は、平坦な路面に停車した状態で車輪ロック装置を作動させてください。

ロック

前ブレーキレバー(6)を強く引き、そのままの状態、前車輪ロック装置(27)を指先で上げます。

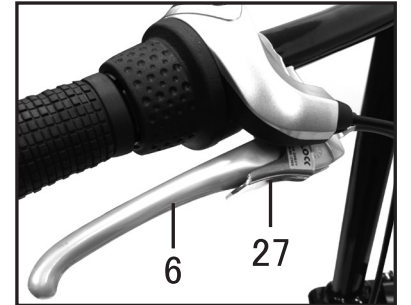
解除

前ブレーキレバー(6)を強く引き、手を離すと自動的に解除します。



実行

- ロックがかかりにくい場合は、両手でしっかりと前ブレーキレバー(6)を引いてください。
- 坂道での駐停車はしないでください。平坦な路面に停車した状態で操作を行ってください。
- 前車輪ロック後、本体が動かないことを必ず確認してください。

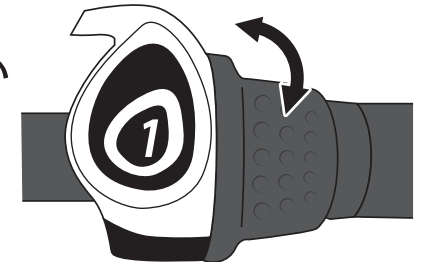


※画像はロックされた状態です。

内装3段ギア(グリップシフト)について

お好みの位置に合わせて走行してください。

軽い ← 1速 2速 3速 → 速い



乗る前の点検

点検ができないお子さまの為に、かならず保護者が行ってください。

初期点検・定期点検について

購入後2ヶ月以内は、ネジなどのなじみの影響でゆるみが生じやすいので、2ヶ月以内に初期点検を受けてください。また、初期点検のあとも異常を感じた時はもちろん、1年ごとに定期点検はを受けてください。(有料)

乗る前の点検について

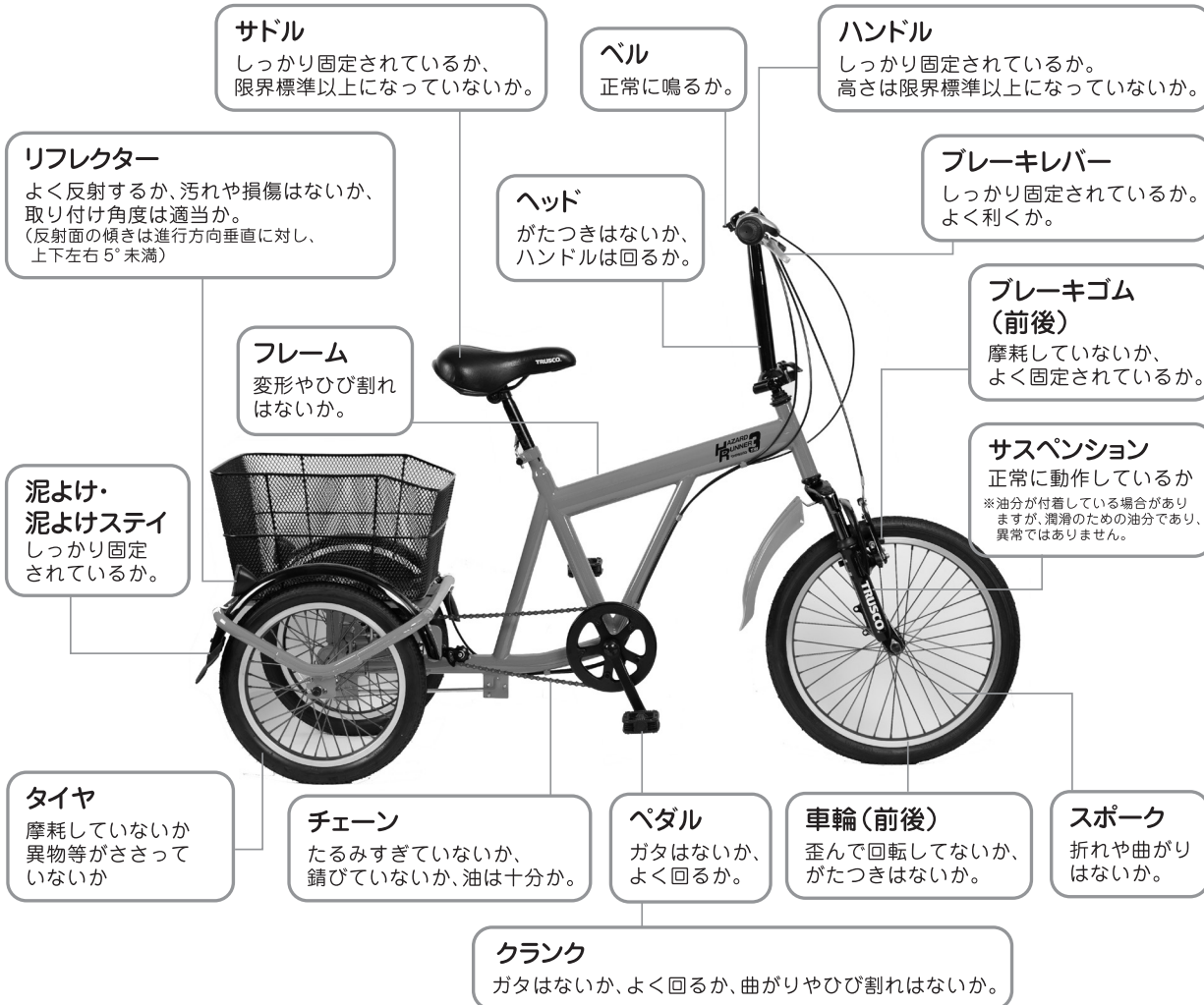
安全にご乗車いただくために、乗る前に必ず点検を実施してください。点検・調整をしたあとは、必ずテスト走行をしてください。異常があった時や、わからない点がある場合は、乗る前にカスタマーサービスまでご相談ください。部品に異常や変形がありましたら、そのまま乗車せず、即座に部品の交換・修理を受けてください。そのまま乗車を続けると、思わぬケガや事故につながる危険性があります。

各部品の交換時期

- ブレーキワイヤーは、異常がなくても2年に1回は交換してください。
- タイヤは接地面のトレッド溝が一部でもなくなる前に交換してください。
- ブレーキゴムは制動面の溝が残り1mmになる前に交換してください。

禁止 部品やフレーム類の変形や曲がりを直しての再利用は絶対にしないでください。

点検の項目



※図は基本的な点検項目ですので、実際の商品とは異なる場合があります。

日常のお手入れ

大切な自転車をいつまでも長持ちさせ、快適にお乗りいただくために定期的にお手入れしてください。特に雨の後の掃除は念入りに行いましょう。

メッキ部分

メッキ部分は、乾いた布で泥やホコリをきれいに落とした後に、防錆油やミシン油で磨いておくのが長持ちのポイントです。

その他

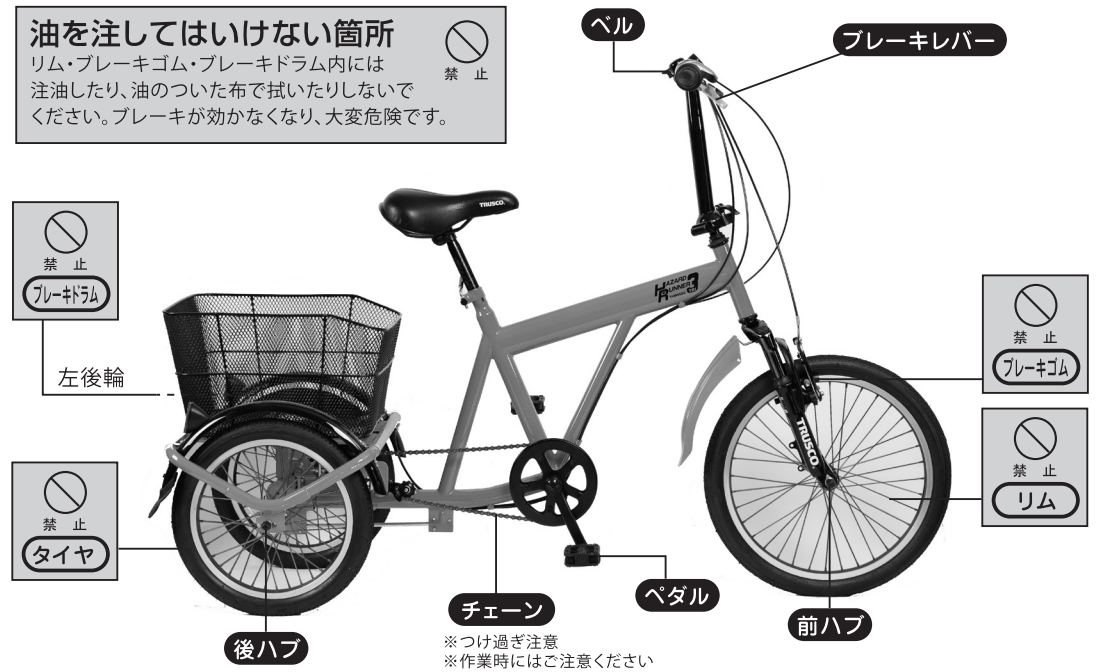
サドル、クリップ(樹脂部分)、ライト、泥除けの汚れは薄めた洗剤で拭き取るときれいに取れます。

ステンレス部分

ステンレスでも材質により、放置するとサビが出る場合があります。表面の汚れを取り、乾いた布で拭いてください。

注油について

月に1度は注油しましょう。注油箇所は、絵の中の矢印で示されたところに軽く注油してください。

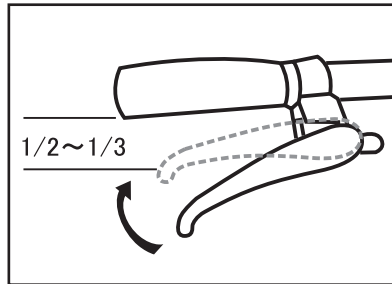


※図、及び内容はイメージですので、実際の商品とは異なる場合があります。

ブレーキの調整

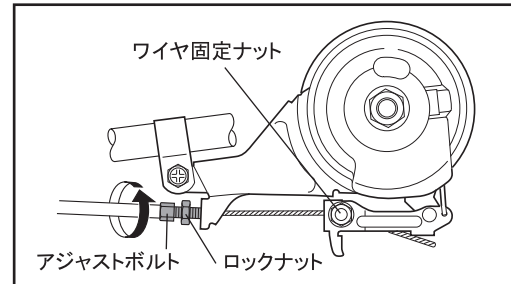
ブレーキや変速機について、最終調整は万全におこなっておりますが、初期において調整が必要な場合がございます。その場合、調整は難しい作業になりますので、お手数ですがお近くの自転車店での調整をお願い致します。また、お客様で調整をされる場合は下記をご参考下さい。(あくまでご参考ですので自転車店での調整をお勧めします)調整は定期的をお願い致します。

■ブレーキレバーの調整



ブレーキは、安全に乗るためにいちばん大切なものです。いつも最高の性能が発揮できるように、乗車前には必ず点検してください。ブレーキレバーを操作し、レバーの開きが1/2～1/3くらいでブレーキが効くようにしてください。

■後ろブレーキの調整



ブレーキを長期間使用すると、ブレーキワイヤの伸びなどによりブレーキの効きが悪くなります。その場合、ロックナットを一時ゆるめて、アジャストボルトを回して調整します。調整後はロックナットをしっかりと締めてください。リムとブレーキシューの間が2mmくらいが適当です。

■Vブレーキの調整(前ブレーキ)

① ワイヤー調整

ワイヤーを止めているネジ「B」を六角レンチで緩め、ワイヤーの張りを調整してから(適度な遊びを作って)ネジ「B」を締めます。

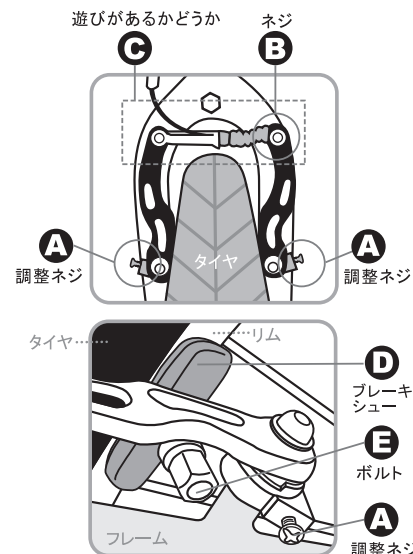
② バランス調整

左右どちらかのブレーキシューが接触している場合(片当たり)では、右図の調整ネジ「A」によって調整することができます。左右の「A」のネジを少しずつ回して調整を進め、左右のバーの動きを均等にしてください。

- タイヤを挟んでいるブレーキシューがリムに接触している場合
調整ネジ「A」を締めると(右回し)ブレーキシューはリムから離れます。
- ブレーキシューをリムへ近づける場合
調整ネジ「A」を緩めると(左回し)ブレーキシューはリムに近づきます。

③ ブレーキシューの調整

ブレーキが鳴るなどのトラブルは、大抵ブレーキシューの当たり角度などを調整することによって直すことができます。まず、「E」のボルトに六角レンチをさし込み、緩めて、ブレーキシューをリムと平行になるようにブレーキレバーを握りながら、ボルトを締めて調整完了です。



調整後は左右のブレーキシューが対称に動いているか確認し、ブレーキがしっかり効く事をご確認の上ご乗車下さい。

ブレーキの効きが悪い場合お近くの自転車店で調整をしてください。

防犯登録について

■防犯登録とは

防犯登録は、防犯協会連合会が、公安委員会の指定を受け、自転車の盗難防止と被害の早期回復を目的に警察、地区防犯協会と自転車販売店(防犯登録店)のみなさまの協力のもとに実施しているものです。地域によっては、自転車防犯登録が義務づけられております。なお、指定を受けていない区域も「防犯登録を受けるよう努めなければならない」と規定されており、登録されますようお勧めします。

■登録の手続き

各都道府県の防犯登録加盟店(自転車店)、または最寄の交番および防犯協会(警察署の中にある)で防犯登録をすることができます。(有料)

※地域によっては、上記箇所登録できない場合もございます。
詳しくは地域の防犯登録協会や警察署までお問い合わせください。

■登録の際に必要なもの

- 自転車本体(車体番号確認のため)
- 販売証明書(取扱説明書・裏面の販売証明書に必要事項をご記入ください)
(※車体番号の刻印位置は、右の図をご参照ください。)
- 販売店の日付が入った伝票、または運送会社の送り状
- お客様の身分証明になるもの(運転免許証・健康保険証・学生証など)

■車体番号の刻印位置

車体番号はハンドルポスト正面の下部に刻印されています。



こんなときどうする?

■転倒したとき

転倒、衝突したら、まず何より道路左側によって自動車を避けます。身体に外傷がある場合は、手当てを終えた後、自転車の状態を調べてください。異常がある場合(自転車を横から見て変形していないか、変速機、ブレーキレバー、ペダルは正常か等)は無理に乗らないで、押してください。必ずお近くの自転車店等で点検・調整を受けてください。

■交通事故

万一、交通事故を起こした場合は、相手が歩行者・自転車・自動車を問わず応急処置のあと速やかに警察に報告してください。事故処理など一切は警察の指示にしたがってください。

■タイヤの交換について

ノーパンクタイヤを交換される場合は、お買上げの販売店または、弊社お客様相談室にご相談ください。

■異常を感じたとき

日常点検および走行中に異常を感じた時は、すみやかに自転車店で点検・整備を受けてください。またはカスタマーサービスにご相談ください。

■ブレーキの故障や ブレーキワイヤが切れたとき

すぐにお近くの自転車店等で修理してください。ブレーキが効かない状態での走行は大変危険です。必ず降りて押してください。

廃棄時のお願い

自転車本体、部品を廃棄する際は、各自治体の指示内容に従って処理してください。

品質保証書

お買い上げ年月日 年 月 日 ●保証期間は、お買い上げ日より1年間(ただし保証規定による)・初期不良の交換は7日間以内

ご芳名(自筆ご署名ください) 〒

品質保証書を受け取りました。

電話 ()

商品名 構内・災害時用ノーバンク三輪自転車
"ハザードランナートライ"

型式名 THR5503

カラー オレンジ

品質保証規定

1.保証修理を受けるための手続き及び条件

保証修理をお受けになる場合は、自転車と本保証書をお買い上げ店または、弊社お客様相談室にご連絡あるいはご持参いただき、保証修理をお申し付けください。(尚、運送業者による引取り・配送を行う場合もございませぬ。)本保証書の提示がないときは保証修理をお受けできません。
*本保証書の字句等を使用者が書き換えた場合は無効となります。
*ご贈答・ご転居および他に譲渡する場合は、お買い上げ店または、弊社お客様相談室にご相談ください。
*お買い上げの日から2ヶ月以内に点検をお受けください。以降年1回定期点検整備をお受けください。定期点検・調整は有料です。(尚、弊社お客様相談室で定期点検をお受けになる場合は、別途送料が必要となります。)
*この保証書は日本国内で使用される自転車で、車体番号の刻印があるものに適用されます。海外に持ち出す場合は、その時点で打ち切りとなります。(This warranty is valid only for JAPAN.)
*出張修理は行っておりませんのでご了承ください。
*保証修理に関するお問い合わせは、お買い上げ店または、弊社お客様相談室にご相談ください。

2.保証できない事項

(A) 次に示すものに起因するものと判断される故障は保証対象外です。
1. 取扱説明書に従わない使用、取扱不注意(乗車定員、最大積載量などのオーバーならびに警告・注意・禁止・強制等厳守事項の無視など)による場合。
2. 衝突・転倒・道路の段差等への乗り上げまたは溝などに落ちて生じたもの。
3. 法令の違反行為により生じたもの(二人乗り、最大積載量オーバー・夜間無灯火等)。
4. 保守・整備の不備、または間違いにより生じたもの。
5. 当社が指定する定期点検調整を実施しなかった場合。
6. 使用者が構造・機能を改造または変更したために生じたもの(弊社で設定した部品以外を使用した場合)。
7. レース・ラリー・トリアル・練習等の酷使および、一般に自転車が走行しない場所での走行(道のない山岳ツーリング、土手の傾斜面等)により生じたもの。

8. レンタルサイクルなど不特定多数で使用される場合。
9. 地震・落雷・火災・水害・公害・その他人災・天災・地震によって生じたもの。
10. 手入れ不十分、保管場所の不備および時の経過により生じた不具合(メッキ・塗装・カラー部品の自然褪色・サビ)、およびプラスチック部品等の自然褪色。
11. 部品の通常の磨耗または疲労と認められたもの(タイヤ・ブレーキ用ゴム等のゴム類)。
12. くぎ・ビン・ガラス・切削剤・鋭利な石ころ・リム打ち・いたづら等で生じるタイヤの破損。
13. 一般に機能上問題のない感覚的現象(音・振動)。
14. ペダルの取り付け不備による故障。
15. 使用中に発生した塗装傷・フレームなどの変形。

(B) 次に示すものの費用はお客様のご負担となります。

1. 保証対象外部品、およびその交換費用(ブレーキゴム、ワイヤー、タイヤ等の磨耗による交換等)。
2. 点検(定期点検を含む)整備、清掃等の費用。
3. 本保証書に示す条件以外の費用。
4. 本製品の故障に起因する付随的費用(本製品を持ち込むために要した費用、修理期間中における代品費用等)。

(C) ~保証修理対象外部品~(次の交換修理はご使用者負担)

タイヤ・スポーク・ブレーキゴム・パッド類・グリップ・フラップ・フレームポンプ・ロ金・カゴ・バッグ・バルブセット・サドル・サドルポスト・ドレスガード等の付属品・ペダルゴム・トゥクリップ・パーテープ・エンドブラグ・リフレクター類・ハブキャップ・ベル・ブレーキワイヤー・ギヤチェンジ用ワイヤー・ワイヤー取付金具、コード・チェーンカバー・スタンド・乾電池・電装品・電球・レンズ・工具・小ネジ・ナット・スプリング・磨耗品および疲労品 など

3.保証機能部品について

保証期間経過後でも、性能を維持するための保証機能部品が必要な際は、お買い上げ店または弊社にご相談ください。生産中止になった場合は代替品での対応になる場合がございます。予めご了承願います。

■自転車について

この自転車は、弊社の製品規格に基づき厳重な品質管理と検査のもとに製造されたものです。お客様の通常の使用または弊社の取扱説明書に従って使用された状態で、方が一品質上の不具合がございましたときは、保証書の内容により、無料修理(以下保証修理)を致します。なお、保証修理は補修または部品の交換によって行い、交換した不具合部品は弊社の所有となります。

■保証書について

この保証書は、本書に明示した期間、条件に基づき保証修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。尚、この保証書は、紛失されても再発行はいたしませんので、十分に内容を確認した上、大切に保管してください。

■購入時の点検

詳細は、取扱説明書をご確認ください。また、「点検・調整チェックリスト」に従い定期点検・整備を行ってください。

チェック欄	点 検	確 認
<input type="checkbox"/>	ペダルの取付け	しっかり固定されてスムーズに回転するか
<input type="checkbox"/>	ハンドル・サドルの締付け	上下・左右に力を加えて動かなければよい
<input type="checkbox"/>	ブレーキの利き	レバーと握りの間が2分の1になるまでにブレーキが利けばよい
<input type="checkbox"/>	タイヤ	破損はないか
<input type="checkbox"/>	ライトの点灯確認	ライトは点灯するか
<input type="checkbox"/>	ベルの作動	よく鳴るか、破損はないか
<input type="checkbox"/>	変速機の作動	正しく変速するか

【保証責任者】

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎0120-509-849
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: techno.center@trusco.co.jp
<http://www.orange-book.com/>

自転車販売証明書

防犯登録の際に、この販売証明書をご提示ください。

お買い上げ年月日 年 月 日

ご芳名(自筆ご署名ください) 〒

電話 ()

メーカー **トラスコ中山株式会社**

カラー **オレンジ**

車体番号

車種 **その他**

後輪サイズ **16インチ**

【販売会社名】

総発売元 **トラスコ中山株式会社** 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号

<本証明書は、弊社商品の自転車をご購入いただいたことを証明するものです。自転車防犯登録を受ける際にご提示ください。>

※防犯登録の際に必要なもの

●自転車本体 ●ご本人確認のための身分証明書(運転免許証または、健康保険証) ●お買い上げ日が表示された伝票、または運送会社の送り状 ●お客様の所在地を確認できるもの

(個人の場合: 運転免許証、健康保険証) (法人の場合: ご使用になる拠点の住所が表示された、公共料金の請求書または領収書)

※車体番号は、「ハンドルポスト正面の下部」に表示されています。(詳細は14ページをご参照ください。)

※防犯登録には登録料が必要です。詳しくは、地域の自転車防犯登録協会までお問い合わせください。